

# ながさきCOC+通信

## 主な活動報告

日付	項目
10月25日	学生と企業との交流会with工業会を開催しました。
11月2日	学生と企業との交流会in長大祭を開催しました。
11月8日	長崎大学キャリアセンター開設記念 “平田オリザ氏 講演会”を開催しました。
11月9日	縁JOYプロジェクト「満月BAR」を開催しました。
11月13日	COC+運営部会を開催しました。
12月7日	NAGASAKIしごとみらい博が開催されました。

## 今後の主な活動予定

日付	項目
1月23日	教育プログラム開発委員会を開催します。
1月27日	COC+運営部会を開催します。
2月7日	第5回COC+事業推進協議会を開催します。
3月20 or 22日	講演会・事業報告会（仮称）を開催します。

## メインピックス

- 「学生と企業との交流会 with 工業会」を開催しました！
- 縁joyプロジェクト第4弾！  
「満月BAR 長崎県美術館」を開催しました。
- 「NAGASAKIしごとみらい博」を開催しました。
- わが校の名物教授！  
長崎純心大学 松本俊穂さん
- 新聞で見つけたトリビア  
長崎短期大学 学生支援課 梶山泰寛さん
- 地元で活躍する卒業生からのエールメッセージ  
長崎県立大学卒業生 高瀬功夢さん（JA全農ながさき勤務）
- “いちおし” お食事処紹介  
長崎国際大学 特任教授 安徳勝憲さん 「インド料理店 シバ」
- COC+コーディネーターの独り言 石松コーディネーターの投稿です

編集室より：本ニュースレターは、長崎大学、長崎国際大学、長崎県立大学、長崎純心大学、長崎短期大学などが産官学連携により進めている地方創生推進事業（COC+）をさまざまな視点から紹介していくものです。ご意見やご質問は[cocplus@niu.ac.jp](mailto:cocplus@niu.ac.jp)までお寄せください。投稿もお待ち申し上げます。次号の発行は4月1日を予定しています。

## 「学生と企業との交流会 with 工業会」を開催しました！

### 「学生と企業との交流会 with 工業会」を開催しました！

1. 日 時 令和元年10月25日（金） 18:00～20:00
2. 場 所 長崎大学（文教キャンパス） 生協食堂2階
3. 参加企業（順不同）

三菱重工長崎、イシマル、日本ベネックス、滲透工業、不動技研工業、長崎船舶装備、東亜非破壊検査、扇精光コンサルタンツ、新長崎製作所、PAL構造、三基、渡辺造船所、アイティーエックス、メトロコンピュータサービス、相浦機械、エコ電子、大阪鋼管、九州テン、協和機工、西部環境調査、近江鍛工、中興化成工業、京セラコミュニケーションシステム、小出製作所、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング

34名の学生（うち工学系学生30名）に参加していただき、初の立食形式で開催しました。

各テーブルには4～5社入っていただき、そこに学生達も入って交流を行ったのですが、やはり最初のうちはお互いに（特に学生側でしょうか）様子見的な感じでした。

ただし徐々に緊張も解け、積極的に質問もしていたようです。飲食を通して、今回も学生と企業の方が身近で楽しく、和やかな雰囲気で行うことができました。

とはいえ、初の試みでもあったため、企業数と学生数のバランスや進行方法など、今後に向けて修正は入れていかなきゃいけませんね。

以下、アンケート抜粋です。

#### 【参加企業側】

- ・ありがとうございました。フランクに学生と交流できる環境で良かったと思います。もう少し学生との交流時間があればより良いと考えます。
- ・自分が習得した知識や技術を使って会社や社会に貢献していきたいという強い意思を持った学生さんが非常に多く感心した。
- ・学生さんを何としても採用したいと考えている為、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。
- ・企業数が多く、学生と十分に交流できなかった。
- ・今回の懇親会は企業側の参加者が学生より多かったこと、年齢層が高めだったため学生は抵抗があったように感じます。懇親会など学生との交流は非常によかったと思います。

#### 【学生側意見】

- ・企業の方とかしこまらず、掘り下げたことまでお話することができたので、良かったです。
- ・あそこまでアットホームな交流会だとは思っていませんでした。ご飯もたくさんあったので嬉しかったです。私は、長崎県内就職希望で建設コンサルタント志望ですが、実際どのような会社があるかはまだ把握していませんでした。しかし、今回の交流会で会社の名前だけでなく、その会社やその社員さんの雰囲気など一気に知ることができ、とても満足しました。ありがとうございました！
- ・色々な企業の方と交流できて良かったです。もう少し交流時間が長いとさらに良かったと思いました。
- ・気になっている企業の長崎でやっている事業内容が知ることができました。
- ・企業の方と交流を通して、どのような感じか知ることができました。

## 縁joyプロジェクト第4弾！

「満月BAR 長崎県美術館」を開催しました。

「NAGASAKIしごとみらい博」を開催しました。

2020 January

14号

## 縁joyプロジェクト第4弾！

「満月BAR 長崎県美術館」を開催しました。

11月9日（土）、長崎県美術館において満月BARを開催しました。

各学部から集まってくれた学生達も、通常の講義もある中、準備の段階から一生懸命に取り組んでくれましたし、各店舗の皆様にも並々ならぬご協力を頂き、無事に開催できました。

そして、帆船まつりの時と同様、天気に恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。

またこのような地域との交流の場を創出できるよう、次年度に向けて考えていきたいと思えます。

満月BARにお立ち寄り頂きたい皆様、本当にありがとうございました。

## 「NAGASAKIしごとみらい博」を開催しました。

1. 日 時 令和元年12月7日（土） 13:00～16:30
2. 場 所 長崎県庁 1・2・3階

上記の通り、NAGASAKIしごとみらい博を開催しました。

県内企業や誘致企業など110社にご出展いただき、来場者数も1045名（うち学生数945名）となるなど、大きなイベントとなりました。

各企業も工夫を凝らしたブースを展開しており、各ブースを回った学生も「話を聞いたすべての企業が魅力的で、迷ってしまいます」と笑顔で言っていました。

昨年度から大規模な交流イベントとなりましたが、まずは企業と学生が触れ合う機会として定着したイベントになってほしいなと思えます。

当然、このイベントをきっかけとして、学生も企業も次のステップに進んでいただければと思います。

ご参加頂いた、学生の皆さん、企業の皆様、ありがとうございました。

## わが校の名物教授！

## わが校の名物教授！

## 私の先達達との出会い

私の出身は日本の北の果て稚内にほど近い日本一北にある村、猿払村である。  
そして今、日本の西の端長崎に住んで34年になる。

そもそも北の果てに生まれた私がなぜ西の果て長崎に住んでいるのか。そこには人生の分岐点毎に私に声をかけて下さった多くの先達達との出会いがある。

私の専門は教会音楽、中でもオルガン音楽である。

私の音楽との出会いは幼少期、北の果て猿払村小学校1年生の頃、居残り組で学校に残り、担任の先生（三浦先生）の足踏みオルガンの手ほどきから始まった。

その後、稚内に移り住み、当時の音楽指導主事という立派な先生（及川先生）よりピアノの手ほどきを受けた。

旭川に移り、高校の音楽教員をしている叔父より、グレゴリオ聖歌そしてオルガン音楽の存在を教えられ、その音楽の崇高さに魅了された。

当時通っていた教会のフランシスコ会士武宮神父より、教会音楽を勉強したければイエズス会のエリザベト音楽大学へ行け！と言われ、それに従い北海道から広島へ渡った。広島の大聖堂で鳴り響くパイプオルガンの音に衝撃を受けた。

毎日曜日大聖堂で演奏するオルガニスト、フランス・ボーン神父の即興演奏に魅せられ、教会に足を運んだ。

ボーン神父よりドイツにあるレーゲンスブルグ教会音楽大学での勉強を勧められドイツに渡った。大学での勉強は私の知っている教会音楽とは別物であり、恐怖さえ覚えた。

その後、当時のエリザベト音楽大学学長テホン神父より長崎の純心という所の教職があると紹介され、それに従った。長崎は日本のカトリック教会の中心である事は知っていた。

何かお役に立てれば・・・と  
長崎に居とどまっている。

先日長崎でローマ教皇ミサがあった。

僭越ながら、オルガンを弾かせて  
いただいた。

お役に立てる場をいただき感謝の念に  
堪えない。

長崎純心大学 松本俊穂





## 新聞で見つけたトリビア

## 地元で活躍する卒業生からのエールメッセージ

## 新聞で見つけたトリビア

テレビのバラエティー番組や旅番組でおなじみの漫画家でタレントの蛭子能収さんの著書が刊行された。タイトルはその名も「死にたくない」、最近話題の終活をテーマとした新書だ。現在72歳、団塊の世代の蛭子さん、日本人男性の平均寿命から換算すれば、残された時間は10年となる。齢古希を過ぎ、「老い」や「死」、またはお金や仕事の問題といった長寿社会での重大事に関し、思いをめぐらせた蛭子流人生論が語られている。人生における最優先事項とは何か？蛭子さんの答えはシンプルだ。「とにかく人生の目的は死なないこと。」そのためには、生きなければならない。生きている限りは、避けられる死のリスクは可能な限り遠ざけねばならない。他人の頼みを断るのが苦手な蛭子さん、それでもバンジージャンプのような危険な仕事のオファーは必ず断ってきたという。

そして、生きるにあたっては、何よりお金が必要だと蛭子さんは言う。生まれ故郷の長崎市にて、高校生の頃にアルバイトで車掌を務めたのを皮切りに、上京後もちり紙交換やダスキン配達員の仕事を経て、33歳で漫画家に。40歳を過ぎてからは、テレビの仕事もこなしていった。働けるうちはずっと働くべきという考え方の持ち主だ。「一番、やらないといけないのは仕事です。職業はなんでもいいんです。」なぜお金が欲しいのか。ケンカが嫌いな蛭子さん曰く、お金があれば自由が得られるし、何より自由があれば人と争わずに生きていけると。団塊の世代特有の集団の狂気を知っているからか、「人は群れるとおかしくなる。違う意見はまずを受け入れ、しかし過剰にとらわれることはしない。長生きが当たり前になった世の中で、いかに人生における余計な摩擦を最小限にして、心穏やかに長寿を全うするのか。」蛭子さんの人生論から、自然体こそ第一線で息長く活躍することを学んだ気がする。当分の間、あの飄々とした姿に各所でお目にかかることになりそうだ。 産経新聞 12月15日  
長崎短期大学 学生支援課 梶山泰寛

## 地元で活躍する卒業生からのエールメッセージ

勤務先：JA全農ながさき

長崎県立大学 経済学部流通・経営学科卒業 高瀬 功夢さん

- 学生時代の思い出・力を入れたこと／部活を4年間、楽しくやりとげました！
- 学生時代にしていたアルバイト／居酒屋
- 学生時代に所属していたサークル／よさこい部
- 長崎県立長崎北高等学校卒業
- 学生へ一言

社会人になると、自由な時間が減る方が多いと思います。

今のうちに、できることはたくさんしておきましょう。

友達と遊んだり、旅行したりするなど、あなたが思う有意義な時間を過ごしてください。



COC+コーディネーターの独り言

“いちおし”お食事処

ナンやライスがお代わり自由！

長崎国際大学の部活動の学生がよく利用するレストラン「シバ」を紹介します。

大学から車で5分足らずの広田地区にあり、カレーだけでなくネパール料理も食べられます。おすすめのランチメニューは、好きなカレーが選べるAセット（850円）で、カレールーの辛さはナント9段階もあります。ぜひ愛嬌たっぷりの「シバの女王」に相談してください。流ちょうな日本語でアドバイスしてくれます。セットについてくるドリンクはぜひラッシーを試してください。さわやかなヨーグルト系飲料で、カレーと抜群のマリアージュを楽しめますよ。

東京の名店「ナイルレストラン」店主が披露しているラッシーのレシピ（二人分）は、「ヨーグルト300グラム、牛乳200cc、ハチミツ大匙4、そしてもしあればクミンパウダー少々を混ぜて、ひたすら2分間かき混ぜる」という大変手の込んだものです。

私も作ってみました。クミンパウダー抜きでもとても美味しく美容にも良いとのこと。お試しください。なお、カレーにはライスよりもナン（草鞋のようなインド式パン）を好む日本人が多いのですが、本場インドではライスのほうが主流だそうです。

【インド料理店「シバ」】

住所：佐世保市広田4丁目1-22 電話：0956-38-8384

（紹介者）長崎国際大学 特任教授 安徳勝憲



COC+コーディネーターの独り言

長崎の初夢

長崎県は若者の人口流出が顕著で、全国の課題先進県となっています。学生が、いざ地域で就職しようとする、地域就職の壁として、「雇用の受け皿」、「雇用の質」、「地元企業の認知不足」が立ちちはだかっています。しかし、それらを打破する取り組みが進んでいます。県内企業も頑張っており、テレビCMを積極的に行っています。

また、優良企業の県内誘致が進み、平成28年度から令和元年度には39社が長崎に来ています。その結果、令和元年度の誘致企業への大学生の内定者数は172名に上ります。その中には、情報系の誘致企業に内定が決まった大学院生2名が含まれています。今まで無かったことです。また、働き方改革の取り組みとして、保険関係の企業が五島市でのインターネットを使ったテレワークを始めます。さらに、魅力的な企業が無いなら、自ら起業しようとする取り組みを支援するアントレプレナー事業も活発になっています。新幹線の開業に伴う長崎駅前地区の本格的な整備、サッカースタジアムを中心とする幸町地区の整備、さらに長崎県北のIR施設も検討されています。

長崎が大きく変わろうとしています。これは夢ではなさそうです。

長崎大学地方創生推進本部

COC+コーディネーター 石松隆和